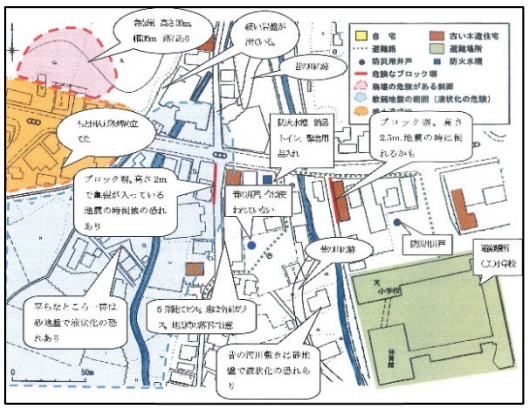
## 27　頭でっかちにならない防災・減災へのススメとは？

東日本大震災以降、我が国では地震、水害、斜面災害などの災害が多発しており、国民の防災意識は高まっていると感じます。防災に関するイベントなども各地で開催され、書籍なども多く出版されるようになりました。防災・減災に関する情報を入手する機会も増えています。防災・減災に関する情報は、国、地方自治体、気象庁、国土地理院、大学などの公共機関や専門家による情報だけではなく、民間発信の防災マニュアル、防災グッツ、避難方法など様々な情報が発信され、防災アプリや動画など多種多様です。これら多くの情報は、防災・減災への備えの助けになり、発災時の意識や準備としても有用であると思います。ただし、これら情報で得た知識に固執することは“頭でっかち”となり、時に柔軟な対応を妨げることになります。実際の発災時には、様々なことが起こります。災害の種類のみではなく、災害の発生した地域や発生時期などによって多種多様な対応が必要となってきます。重要なことは、自分の地域を知ること、そして実際に行動してみることです。ハザードマップなどからは、土砂災害や浸水などの地域で起きる可能性がある災害を知ることができますし、防災訓練などにより実際に避難経路を歩いてみることは大事だと思います。また、防災グッズは実際に使用してみることで、自分にあったものかを確かめることができます。

私たち防災・減災サポートセンターでは、「自分の地域を知ることは大事である」との考えのもと、「わがまち再発見」と称した「マイマップづくり」のお手伝いをしています。「マイマップ」とは、自分の住む町を実際に自分で歩いて、発災時に役に立つと考えられるものや危険となり得るものを書き込んでいく地図です。例えば、役立ちそうな「薬屋」や「避難所」、危険の原因となる可能性のある「看板やトランスが乗っている電柱」や「倒れそうなブロック塀」などの位置を記号で書き込んでいきます。写真も添えれば、もっと分かりやすくなると思います。


自宅
古い木造住宅
避難路
避難場所
防災用井戸
防火水槽
危険なブロック塀
強震の危険がある斜面
軟弱地盤の箇所（液状化の危険）
ブロック塀、高さ2m で鉄筋が入っている 地震の時倒壊の恐れあり
ブロック塀、高さ 2.3m 地震の時に倒れるかも
防火水槽 鉄蓋 トイレ 緊急用 設置
防災用井戸 今設置されていない
防災用井戸
避難所 (○小学校)
小学校
古い建物が 密集している
昔の河川 今は暗渠 されていない
昔の河川 埋立て
昔の河川 埋立て 防災用井戸
昔の河川 埋立て 防災用井戸
昔の河川 埋立て 防災用井戸